随意契約結果及び契約の内容

業	務	の 名	3 称	令和7・8年度流水型ダム工事総合検討業務
業	務	概	要	・計画準備1式 ・現地調査1式 ・既往成果等の内容把握・課題抽出1式 ・ダム本体工事発注の基礎資料作成1式 ・関連業務との調整1式 ・総合検討1式 ・報告書の作成1式
		の氏名並での名称及で		分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 川辺川ダム砂防事務所長 栗原 太郎 熊本県球磨郡相良村大字柳瀬3317
契	約	年 月	月 日	令和 7年10月 6日
契	約	業者	者 名	独立行政法人水資源機構
契	約 業	者の	住 所	埼玉県さいたま市桜区神田936
契	約	金	額	64,900,000円(税込み)
予	定	価	格	64,944,000円(税込み)
随意	学約によ	ることと	した理由	
業	務	場	所	川辺川ダム砂防事務所管内
業	種	区	分	土木関係建設コンサルタント業務
履	行 其	明間	(自)	令和 7年10月 7日
履	行 其	明間	(至)	令和 9年 3月31日
備			考	入札情報サービス(PPI) (https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Sear ch.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索する ことにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

2. 履行場所 川辺川ダム砂防事務所管内

3. 契約の相手方 住 所:さいたま市桜区大字神田936番地

名 称:独立行政法人水資源機構 電 話:048-853-1785

4. 契約適用法令:会計法第29条の3第4項及び

予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、既往の設計成果並びに施工計画成果の内容を確認・照査を行い、本体工事発注に必要な図面・数量を整理し積算根拠資料としてとりまとめを行うことを目的とする。

2)業務の内容

• 計画準備	1式
• 現地調査	1式
・既往成果等の内容把握・課題抽出	1式
・ダム本体工事発注の基礎資料作成	1式
・関連業務との調整	1式
• 総合検討	1式
・報告書の作成	1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を26者が入手(ダウンロード)し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び「ダム本体工事発注の基礎資料作成の留意事項」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「実施手順」における実施フローの工夫、工程計画の工夫が記載されていること、「その他」有益な代替案、重要事項の指摘が記載されていること、及び評価テーマの「ダム本体工事発注の基礎資料作成の留意事項」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理されており、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4 第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

川辺川ダム砂防事務所 ダム工事課長